

番組審議会

第2回 BSよしもと番組審議会

■開催年月日：2022年5月20日(金)

■開催場所：BSよしもと株式会社 本社 会議室

■出席した委員(敬称略)5名 *あいうえお順

大原鶴美 (プロフェッショナル コミュニケーションスキル マスター・トレーナー)

川上和久 (麗澤大学教授)

品田英明 (元 味の素 AGF 株式会社代表取締役社長)

竹中ナミ(ナミねえ) (社会福祉法人プロップ・ステーション理事長)

山田秀雄 (山田・尾崎法律事務所)

■議題

1. 開会の辞 (審議委員長)
2. 開会の挨拶(稲垣社長)
3. BSよしもと 新メンバー紹介
4. 編成関連の報告
5. 視聴者からの反応の共有(コールセンターレポートより)
6. 番組審議 対象番組「ギュッとチーキーズ a GoGo！」
(4月14日~4月15日分)4月24日放送回
7. 閉会の挨拶(泉副社長)
8. 事務局からの連絡事項
9. 閉会の辞 (審議委員長)

川上審議委員長による開会の辞に続き、社長 稲垣の挨拶により、3月21日の開局以来事故なく放送が継続しており、これからもチャレンジングな放送局を目指したいという抱負が語られた。続いて、今回初参加となるBSよしもとのメンバーが紹介され、以下の本議題へと進行した。

■審議の経過の概要等

1. 編成関連の報告

編成・制作局長より、以下について報告し、全審議委員に理解された。

- ① 3月の基本編成表について、番組紹介映像を交えて説明

*編成表は、ホームページ上に公表

- ② 開局より4月までの下記特番についての紹介

・「BSよしもと開局記念 チーキーズ a GoGoGo! 6時間スペシャル」

・「伝説の(裏)一日」「よしもとBASEBALL LIVE 福岡ソフトバンク vs 北海道日本ハム」

・「～島ぜんぶでおーきな祭を大満喫！～沖縄国際映画祭レッドカーペット独占生中継スペシャル！」

③ 番組種別の報告(3月21日～3月30日分)＊詳細は、ホームページ上に公表

2. 視聴者からの反応の共有(コールセンターレポートより)

考査部より4月中にコールセンターに寄せられた視聴者からの意見についてのサマリーを報告し、全審議委員に理解された。

3. 番組審議

対象番組「ギョッとチーキーズ a GoGo！」(4月14日～4月15日分)4月24日放送回

初めに、対象番組について、制作を担当した吉本ホールディングス 執行役員 コンテンツ本部長より説明を行い、審議委員から寄せられた質問、意見にはチーフ・プロデューサーから回答を行う形式で番組審議を進行した。

各審議委員からは、以下のような意見が寄せられた。

- ・毎日4時間にわたる生放送を、大きなトラブルもなく放送できていることは評価に値する。
- ・「住みます芸人」達のその土地への真摯な向き合いが伝わり、頑張っている姿が感動的で応援したくなる番組である。
- ・紹介される土地の地理的な場所や特徴について、地図やテロップ、QRコード等での紹介があると、番組の途中から視聴した際にもより楽しめるのではないかと。
- また、その街の住人と住みます芸人との交流などがあると、より楽しめるのではないかと。
- ・スタジオ側で進行を務めるMCの「住みます芸人」への対応や技量により、番組全体の印象が大きく変わると感じられるため、改善の余地があるのではないかと。
- ・4時間に及ぶ長時間の生放送という、地上波の番組には見られない、ゆったりとした番組進行やトークが楽しめる一方、進行にメリハリが感じられない側面もある。長時間の生放送である特性を活かし、1つのテーマを掘り下げた特集として取りあげる、その土地のバックグラウンドまでをストーリーをもって紹介するなどの企画で、より局のコンセプトである「地方創生」への貢献ができるのではないかと。
- ・若い視聴者層を含め、より多くの新規視聴者を取り込めるよう取り組んでほしい。
- ・中継技術は、開局当初に比べ、改善されてきているように感じられる。
- ・生放送中の発言は、現段階ではコンプライアンスが良く意識されている印象を受けるが、今後出演者が慣れてきた段階を迎えても、引き続き注意が必要である。

これらの意見に対し、チーフ・プロデューサーからは、以下のようなコメントが戻された。

- ・住みます芸人の真摯な活動を大事に届けることが番組にとって大切であり、それを見守る役割のスタジオMCにおける不十分な部分を調整していきたい。

・地上波他局のバラエティー番組との差別化を図るため、意図的にゆったりとした雰囲気番組作りを試みている。

その中で、住みます芸人の活動紹介をドキュメンタリー仕立てで紹介し、地元ユーチューバーの起用やSNSの活用などの試みを行っているが、今後はより地方の特色が感じられるよう改善を心掛け、若い視聴者を含めた新規の視聴者の取り込みにもチャレンジしていきたい。

・テロップや地図などによる情報掲示については、日々改善に努めている段階である。

QRコードを使った情報提供というアイデアも参考にさせていただきたい。

また、中継技術においても、全国に機材を配布している特徴を十分に発揮できるよう更なる改善を重ねている状況である。

最後に次回の開催時期を確認後、弊社副社長 泉による閉会の挨拶を受け、審議委員長による閉会の辞が述べられ、審議会が終了となった。

■現在のBSよしもと審議会委員(敬称略)

※2022年5月現在

川上和久 (委員長/麗澤大学教授)

山田秀雄 (副委員長/山田・尾崎法律事務所)

大原鶴美 (プロフェッショナル コミュニケーションスキル マスター・トレーナー)

久保博 (一般財団法人 日本スポーツ推進機構(NSPO)理事)

品田英明 (元 味の素 AGF 株式会社代表取締役社長)

清水義次 (建築・都市・地域再生プロデューサー/株式会社アフタヌーンソサエティ代表取締役)

竹中ナミ(ナミねえ) (社会福祉法人プロップ・ステーション理事長)

以上